

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

單位數： 2 單位

使用教科書：（ 第一学習社 論理国語 ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】様々な課題に対する主体的な取り組みができるようにする

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の国語の運用に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考えたし、構成的に書く力を伸ばすとともに、様々なジャンルの考え方を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思考をを広げたり深めたりすることができるようにする。	国語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって国語に親しみ自己を向上させ、我が国の国語の担い手としての自覚を深め、国語により他者や社会に関わる態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価標準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	『自他の間合い』 【知】哲学的真理的に表現する語句に触れ語彙を増やす。 【思】文の構造と、論理展開についてたどらせて、論説文の基本の形を考える。 【学】授業で取り上げられた内容から、「自他の間合い」を自分のこととしてとらえ、考える。	○あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、文脈をたどる ○対比の関係を整理することで、文脈を細かくたどる。 ◎レポート作成を通じて、自分自身の考えをまとめ、まとめる。て話し合う。 ○「私の中の日本語」と比較して、その論理の特徴を捉えなおす	○	○	○	【知】言葉には、論理や比喩を明確にする働きがあることを理解している。 【思】「読むこと」において、この評論に表れているものの見方、考え方を捉えるとともに、背景や他の問題についても解釈を深めている。 【主】粘り強く論理の展開をたどり、学習課題に沿って筆者の主張を考え、それを、自分自身のものとして組み立てなおしている。	○	○	○	8
	定期考査									1
	『自他の間合い』 【知】詩人の直観的・比喩的な表現に触れて、語彙を豊かにする。 【思】文の構造と、論理展開についてたどらせて、要点のまとめを正確に行う。 【学】「無」によって、逆に無数の想像が可能になることを、自分の事例で考える。	○あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、その表現の意味をたどる ○特徴的な比喩表現を整理することで、文脈を細かくたどる。 ◎発表授業を通じて、自分自身の考えをまとめ、他者の意見について話し合う。 ○「ループ美術館の楽しみ方」と比較して、その論理の特徴を捉えなおす	○	○	○	【知】言葉には、直観や比喩を効果的にする働きがあることを理解している。 【思】「読むこと」において、この評論に表れているものの見方、考え方を捉えるとともに、その表現の仕方に注目して、その特色を理解している。 【主】粘り強く論理の展開をたどり、別の著者が同じものを評論していることなどを通じて、それを、自分自身のものとして、考えることができる。	○	○	○	14
定期考査										1
2 学期	『越境する動物がもたらす贈り物』 【知】より細やかな概念をあらわす語句や具体例に触れ、語彙を増やす。 【思】「人間」と「動物」の関係性とその状況を論理的に捉え、贈与の物語について、考えを深める。 【学】授業ごとのまとめノートなどから、自分の考えを話し合う。	○本文を話の展開にしたがっていくつかの意味段落（五つ）に分け、それぞれの内容を大まかに把握することを目標に、簡潔に要約する。 ○「人間」と「動物」の贈与の関係性について、整理し、読解を深める。 ◎贈与論について整理をし、全体を振り返る。 ○この作品について、考えたことを話し合う。	○	○	○	【知】語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】粘り強く読解をすることを通じて、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○	○	○	10
	定期考査									
	『なぜ多様性が必要か』 【知】生物学の概念をあらわす語句や具体例に触れ、語彙を増やす。 【思】人間を生物の一種として考え、生物としての多様性を論じる論旨を的確にとらえ、考えを深める。 【学】授業ごとのまとめノートなどから、自分の考えを話し合う。	○本文を話の展開にしたがっていくつかのトピックスを整理し、それに基づく論理展開を明確にする。 ○生物についての多様性の問題について、「人間」との比較も含めて、整理し、読解を深める。 ◎生物多様性、動的並行論について整理をし、全体を振り返る。 ○この作品について、考えたことを話し合う。	○	○	○	【知】理系概念を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈が順次深められていくことについて、考察している。 【主】読解をすることを通じて、生物多様性の中で生きる人間への理解を深め、自分自身についての考えを表現する。	○	○	○	16
定期考査							○	○		1
	『コミュニティ空間としての都市』 【知】都市論を読むことを通して、都市で生きることの理解を深める。 【思】社会学的方法による分析をたどり、「現代」という時代について考えを深める。 【学】評論に描かれたテーマについて考えをまとめ、文章にする。	○都市論を論じる概念について確認し、都市の在り方についての理解をする。 ○都市の長所と短所とを、対比的に読み取る。 ◎都市論についての整理をし、全体を振り返る ○1台端末を活用した振り返りレポートの作成	○	○	○	【知】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする意義と効用について理解を深めている。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、の仕方などを的確に捉えている。 【主】学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考え、内容紹介文を書こうとしている。	○	○		10
	定期考査						○	○		
										合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学探究

教科：国語

科 目： 文学探究

单位数： 1 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1357組：喜入 ） （246組：小泉 ）

使用教科書：（東京書籍 文学国語）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】語彙、漢字、基礎知識を習得する

【思考力、判断力、表現力等】四技能を伸ばし、思考力・判断力・表現力を伸ばす

【学びに向かう力、人間性等】課題に対する主体的な取り組みができるようにする

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	『山月記』 【知】心情を豊かに表現する語句に触れ語彙を増やす。 【思】李徴や袁傜の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 【学】授業で取り上げられた内容から李徴の内面と苦悩について考えを深め、工夫して意見をまとめ話し合う。	○あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢文調を生かした語句の意味を明らかにする。 ○「語り」の変化を手掛かりに、本文をいくつかの場面に分け、それぞれの要点をまとめる。 ○李徴の性格や、虎になった理由などをまとめる。 ○虎となった李徴の心情を考え、まとめる。 ○李徴の生き方について話し合う。 ○一人1台端末を活用した振り返りレポートの作成	○	○	○	【知】言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思】「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【主】粘り強く登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合おうとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
2 学期	『こころ』 【知】より細やかな心情の機微や情景の豊かさを表す語句に触れ、語彙を増やす。 【思】「私」や「K」の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。 【学】授業ごとのまとめノートなどから登場人物の関係性と心情についてまとめ、自分の考えを話し合う。	○夏目漱石の他作品を挙げ、本教材を学習するのに必要な範囲で、作者・作品について予備知識を持つ。 ○「私」「K」「お嬢さん」それぞれの関係について理解する。 ○本文を話の展開にしたがっていくつかの意味段落（五つ）に分け、それぞれの内容を大まかに把握することを目標に、簡潔に要約する。 ○「私」や「K」の行動と心理を整理し、読解を深める。 ○場所・時などの変化に注意して事の経緯をまとめ、登場人物たちの性格や生き方の違いについて考えて、全体を振り返る。 ○この小説の主題（エゴイズムなど）について、考えたことを話し合う。 ○一人1台端末を活用した振り返りレポートの作成	○	○	○	【知】情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【主】粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを話し合おうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	『鞆』 【知】小説を読むことを通して読書の意義と効用について理解を深める。 【思】寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 【学】作品に描かれたテーマについて考えをまとめ、文章にする。	○物語の舞台設定を確認し、青年の行動に対する「私」の印象を読み取る。 ○鞆を持って歩く「私」の心情について読み取る。 ○鞆の象徴するものを手掛かりに、作品の主題について考え、話し合う。 ○一人1台端末を活用した振り返りレポートの作成	○	○	○	【知】人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主】粘り強く寓意が表しているものを読み取り、学習課題に沿って作者が描こうとした意図について考え、内容紹介文を書こうとしている。	○	○		8
	定期考査						○	○		1
										合計 35

年間授業計画

板橋 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科： 地歴 科目：歴史総合

教科： 地歴 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1組～7組：新村治義 ）

使用教科書：（ 歴史総合（実教出版） ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】地理・歴史に関する基礎的な事項を理解し、習得する。

【思考力、判断力、表現力等】地理・歴史に関する基礎的な思考力・判断力・表現力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題に対する主体的な取り組みができるようにする。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の世界史と日本史に関する基礎的な事項を身に付け、日本が経験した近代化・大衆化・グローバル化の過程を正しく理解し、将来への指針にできるようにする。	従来別々に学んできた世界史と日本史の近代史を同時に学ぶことにより、より広く深い理解や思考を深めると同時に、21世紀に生きる日本人として必要な判断力や表現力を身に着ける。いて背景、理由、現状、影響などを正しく理	授業や課題へ真剣に取り組み、話し合いなどにも積極的に取り組む。また、社会で暮らす当事者としてニュースなどで取り上げられる地理・歴史問題に関心を持ち自ら考えることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	A 単元 経済：近代化と私たち① 【知識及び技能】 日本の開国と明治維新、西欧の市民革命について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 今日の社会の誕生を共感をもって理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会は先人の偉業に基づいて成立したことを理解する。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集、ワーク ・一人1台端末の活用 歴史動画、歴史クイズへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 歴史問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	A 単元 経済：近代化と私たち② 【知識及び技能】 欧米と日本の国民国家の形成、列強の帝国主義について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の統一と成長を共感をもって理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会は先人の偉業に基づいて成立したことを理解する。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集、ワーク ・一人1台端末の活用 歴史動画、歴史クイズへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 歴史問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 経済：大衆化と私たち① 【知識及び技能】 第一次大戦と大衆社会の成立について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 大国のエゴと小国の悲哀を共感をもって理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会は先人の偉業に基づいて成立したことを理解する。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集、ワーク ・一人1台端末の活用 歴史動画、歴史クイズへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 歴史問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	A 単元 経済：大衆化と私たち② 【知識及び技能】 世界経済の悪化と第二次大戦の勃発について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 人々の生活を守るはずの国家が戦争によって人々の生活を破壊することを共感をもって理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会は先人の偉業に基づいて成立したことを理解する。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集、ワーク ・一人1台端末の活用 歴史動画、歴史クイズへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 歴史問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 経済：グローバル化と私たち 【知識及び技能】 冷戦の成立と崩壊、経済の国際化、多極化する地域紛争について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 現在の社会は自然や伝統文化を犠牲にして誕生したことを共感をもって理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会は先人の偉業に基づいて成立したことを理解する。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集、ワーク ・一人1台端末の活用 歴史動画、歴史クイズへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 歴史問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科： 公民 科目：公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（ 1 組～7 組：水野裕 ）

使用教科書：（ 公共（実教出版） ）

教科 公民 の目標：

【知 識 及 び 技 能】18 歳成人を受けて、政治や経済に必要な基本的な知識を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】社会で起きている諸問題に向き合うため、時事問題を中心に問題の背景、理由、現状、影響などを正しく理解させる。

【学びに向かう力、人間性等】時事問題を中心に社会で起きている諸問題が自分の生活に関係があることを理解し、自分の問題として考える力を養う。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
成人となる 18 歳に向けて必要な政治や経済の基本的な知識を身につける。 また、その知識を選挙や契約などの場面において正しく利用できるようにする。	時事問題を中心に社会で起きている問題について背景、理由、現状、影響などを正しく理解し、必要に応じて解決策なども考えることができる。	授業や課題へ真剣に取り組み、話し合いなどにも積極的に取り組める。また、社会で暮らす当事者としてニュースなどの時事問題に関心を持ち自ら考えることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 経済：現代の経済社会 【知識及び技能】 家計、企業、政府、日本銀行の役割について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 消費活動や起業と結び付け身近な問題として捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に社会の一員として経済活動に参加していることに気づかせる。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 エクセルで作成した株式 ゲームへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 社会問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	A 単元 経済：日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 日本経済の特徴、消費者・労働問題、社会保障について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 時事問題と関連させ身近な問題として捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に社会の一員として経済活動に参加していることに気づかせる。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 エクセルで作成した株式 ゲームへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 社会問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 政治：日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 憲法の精神や目指している社会像について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題と関連させ身近な問題として捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分たちの生活が憲法によって守られていることに気づかせる。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 エクセルで作成した株式 ゲームへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 社会問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	A 単元 政治：日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 政治のしくみを理解させ、主権者として判断できる基本的知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題と関連させ身近な問題として捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主権者として正しい判断ができるために基本的知識が必要なことに気づかせる。	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 エクセルで作成した株式 ゲームへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 社会問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 単元 国際：国際政治の動向と課題・国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 国際政治、国際経済について理解させる 【思考力、判断力、表現力等】 他国との協力を抜きに生活できない理由について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 他国とどのように良好な関係を保っていくか考えさせる	・指導事項 基本的知識や関係する諸問題 ・教材 教科書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 エクセルで作成した株式 ゲームへの取り組み	【知識・技能】 基本的知識を正しく身につけたか 【思考・判断・表現】 社会問題への様々な取り組みを理解し、自分なりの解決策を考えているか 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として自分事として考え取り組んでいるか	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組
教科担当： （1 組：大井） （4・5 組：大井） （7 組：宮崎）
使用教科書：（数研出版 新編 数学Ⅱ）
教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数列、統計的な推測、数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列、統計的な推測、数学と社会生活を用いて事象を数値化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数列、統計的な推測、数学と社会生活を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数列、統計的な推測、数学と社会生活の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数列、統計的な推測、数学と社会生活について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測、数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列、統計的な推測、数学と社会生活を用いて事象を数値化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	数列、統計的な推測、数学と社会生活を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数列、統計的な推測、数学と社会生活の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	数列、統計的な推測、数学と社会生活について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	三角関数 【知識及び技能】 集合の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	三角関数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 三角関数の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する記号を適切に扱い、問題に取り組めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	三角関数 【知識及び技能】 集合の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	三角関数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 三角関数の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する記号を適切に扱い、問題に取り組めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	式と証明 【知識及び技能】 整式の除法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 整式の除法を計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	式と証明 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 整式の除法を考えることができる。 【思考・判断・表現】 整式の除法を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
	式と証明 【知識及び技能】 高次方程式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高次方程式を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	式と証明 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 高次方程式の考え方を用いて、解くことができる。 【思考・判断・表現】 高次方程式の文章題を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	13
2 学 期	定期考査			○	○		1
	図形と方程式 【知識及び技能】 直線を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 直線の方程式を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	図形と方程式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 直線を理解できる。 【思考・判断・表現】 直線を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	18
	図形と方程式 【知識及び技能】 円の方程式を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 円の方程式を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	図形と方程式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 円の方程式を理解できる。 【思考・判断・表現】 円の方程式を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数・対数関数を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	指数関数・対数関数 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 指数関数・対数関数を理解できる。 【思考・判断・表現】 指数関数・対数関数を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	18
3 学 期	定期考査			○	○		1
	微分積分法 【知識及び技能】 微分法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ微分法の性質を用いて、様々な計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	微分積分法 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 微分法を理解している。 【思考・判断・表現】 微分法を用いて、問題に取組み、計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	微分積分法 【知識及び技能】 積分法の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 積分法を用いて面積を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	微分積分法 教科書・タブレットを用いて指導する。	【知識・技能】 積分法を考えることができる。 【思考・判断・表現】 グラフをかくことで、面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	18
							合計 140

年間授業計画

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組
教科担当： （1 組：大井） （4・5 組：大井） （7 組：宮崎）
使用教科書： （数研出版 新編 数学B）
教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数列、統計的な推測、数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列、統計的な推測、数学と社会生活を用いて事象を数値化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数列、統計的な推測、数学と社会生活を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数列、統計的な推測、数学と社会生活の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数列、統計的な推測、数学と社会生活について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測、数学と社会生活についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数列、統計的な推測、数学と社会生活を用いて事象を数値化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	数列、統計的な推測、数学と社会生活を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数列、統計的な推測、数学と社会生活の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	数列、統計的な推測、数学と社会生活について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数列 【知識及び技能】 等差数列の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 等差数列に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 等差数列の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 等差数列に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	4
	数列 【知識及び技能】 等比数列の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 等比数列に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 等比数列の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 等比数列に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	数列 【知識及び技能】 和の記号Σの考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 和の記号Σに関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 和の記号Σの考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 和の記号Σに関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	6
	数列 【知識及び技能】 いろいろな数列の考え方、表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな数列に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 いろいろな数列の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 いろいろな数列に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	6
2 学 期	定期考査			○	○		1
	数列 【知識・技能】 帰納法の考えを理解している。 【思考・判断・表現】 帰納法を用いての証明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数列 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 帰納法の考えを理解している。 【思考・判断・表現】 帰納法を用いての証明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	数学と社会生活 【知識及び技能】 問題解決方法を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決方法を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数学と社会生活 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 問題解決方法を理解できる。 【思考・判断・表現】 問題解決方法を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	13
3 学 期	定期考査			○	○		1
	数学と社会生活 【知識及び技能】 移動平均・回帰平均を理解し、様々な問題に対応できる。 【思考力、判断力、表現力等】 移動平均・回帰平均を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数学と社会生活 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 移動平均・回帰平均を理解できる。 【思考・判断・表現】 移動平均・回帰平均を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	1年間の振り返り	ワークシート					1
							合計 70

板橋 高等学校 令和5年度(2学年用)教科: 理科 科目: 物理基礎

教 科： 理科

科 目： 物理基礎

单位数

科目：物理基礎

单位数: 2 单位

対象学年組:第 2 学年 選択必修

教科担当者：（1組：塩野） （5組：塩野） （7組：塩野） （組： ） （組： ） （組： ）

使用教科書：（ 高等学校 新物理基礎（第一學習者） ）

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象の理解に必要な知識、観察力、実験技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象について、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の現象について、日常生活との関連を常に意識している。

科目 物理基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理に関する自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	物理に関する自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	物理に関する自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・物理量、数値、数式のそれぞれの表し方を理解する。 ・誤差と有効数字を理解し、測定値の計算に取り組む。	物理量の測定と扱い方	(1) 科学表記で表すことができる。 (2) 有効数字を踏まえた測定値の計算ができる。 (3) 有効数字の桁数を考えることができる。	○	○	○	4
	・物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考えることができる。	速度	(1) 変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 (2) 速度の合成や、相対速度に関する現象を観察し、それぞれを式で表すことができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	・加速度や等加速度直線運動、自由落下や鉛直投射について式やグラフで考えることができる。 ・物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。	加速度 落下運動 さまざまな力	(1) 等加速度直線運動の関係式を導くことができる。 (2) 落下する物体の運動は、鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解している。 (3) 力の表し方、さまざまな力を理解している。 (4) フックの法則の計算ができる。	○	○	○	6
	・力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 ・作用・反作用の法則を理解する。 ・運動の3法則について理解する。 ・運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦力の特徴を理解する。	力の合成・分解とつりあい 運動の3法則 運動方程式の利用 摩擦力を受ける運動	(1) 力の合成・分解ができる。力のつりあいの問題が解ける。 (2) 作用・反作用の法則を理解している。 (3) 運動方程式を立てることができる。 (4) 摩擦力を含む運動方程式が解ける。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・仕事、仕事の原理、仕事率について理解する。	仕事と仕事率	(1) 仕事、仕事率を計算することができる。	○	○	○	6
	・運動エネルギー、位置エネルギーと仕事の関係について理解する。 ・力学的エネルギーの保存について理解する。	運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー	(1) 運動エネルギー、位置エネルギーを計算することができ、物体がされた仕事との関係について理解している。 (2) 力学的エネルギー保存の法則を導くことができ、式を立てることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・熱運動、セルシウス温度、絶対温度を学習し、温度について理解する。	熱と温度	(1) 熱運動と温度との関係を理解している。 (2) セルシウス温度と絶対温度の関係を式を用いて理解している。	○	○	○	6
	・熱と熱量を学習したのち、熱平衡、比熱、熱容量、熱量の保存、潜熱について理解する。 ・熱量の保存を利用し、物質の比熱を測定する。	比熱、熱容量、熱量の保存	(1) 熱容量と比熱の関係を学習し、熱量の保存についての式を立てることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・波の要素について学習する。 ・横波、縦波について理解する。 ・重ねあわせの原理と波の独立性について理解する。 ・定常波が生じるしくみを理解する。 ・反射の仕方、反射波と合成波の作図の仕方を理解する。	波の表し方と波の要素 波の重ねあわせと反射	(1) 波と媒質、波の伝わり方を理解している。 (2) 基本的な波に関する物理量について理解している。 (3) 横波と縦波を理解している。 (4) 2つの波が重なりあったときの作図ができる。 (5) 定常波を理解している。 (6) 反射波、合成波の作図をすることができる。	○	○	○	8
	・音速と温度の関係を理解する。 ・音の3要素(音の高さ、大きさ、音色)を理解する。 ・うなりを計算することができる。 ・弦、気柱に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係を式を用いて理解する。 ・共振、共鳴について理解する。	音波の性質 物体の振動	(1) 音波が疎密波であることを理解し、音速と温度の関係を式で表すことができる。 (2) 音の3要素(音の高さ、大きさ、音色)が何に関係しているかが分かる。 (3) うなりの回数を計算することができる。 (4) 弦に生じる定常波や気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を計算することができる。 (5) 共振、共鳴がおこるしくみを理解する。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1 5 組：新妻） （ 2 3 7 組：廣江）（4 6 組：渡部）

使用教科書：（ 現代保健体育 大修館 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付ける。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝える。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝える。

【学びに向かう力、人間性等】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けることができるようにする。	健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断できるようにする。	健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・現代社会と健康 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持てるようにする。	・指導事項 ①ライフステージと健康 ②思春期と健康 ③性意識と性行動の選択 ④妊娠・出産と健康 ⑤避妊法と人工妊娠中絶 ⑥結婚生活と健康 ⑦中高年期と健康 ⑧働くことと健康 ⑨労働災害と健康 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	11
	期末考査			○	○		1
2 学 期	・現代社会と健康 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持てるようにする。	・指導事項 ⑩保健サービスとその活用 ⑪医療サービスとその活用 ⑫医薬品の制度とその活用 ⑬さまざまな保健活動や社会的対策 ⑭健康に関する環境づくりと社会参加 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	13
	期末考査			○	○		1
3 学 期	・安全な社会生活 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持てるようにする。	・指導事項 ⑯保健サービスとその活用 ⑰医療サービスとその活用 ⑱医薬品の制度とその活用 ⑳さまざまな保健活動や社会的対策 ㉑健康に関する環境づくりと社会参加 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	8
	期末考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教 科： 理科 科 目： 地学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： 1・2・7：冠木 4・5組：谷川 3・6組：塩野

使用教科書：（ 高等学校地学基礎 第一学習社 ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象の理解に必要な知識、観察力、実験技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象について、科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自然の現象について、日常生活との関連を常に意識している。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 1. 地球の形と大きさ 2. 地球の形の特徴と大きさ	・地球の形の認識 ・地球の大きさの測定	・地球の形や大きさ、地球の層構造、地球内部の動きなどを理解し、知識を身につけている。 ・GPSや地形図を利用した実習を通じ、対象の事象を理解しようとしている。 ・地球の形や大きさ、地球の層構造、地球内部の動きなどに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	11
	3. 地球の内部構造 4. 地球内部の動き	・地殻、マントル、核の層構造 ・アセノウプフェアとリソスフェア					
	第2節 プレーートの運動 1. プレーートの分布と運動 2. プレーートの境界 3. 地殻の変動と地質構造 中間考査	・日本列島付近のプレート ・大陸プレートと海洋プレート ・海嶺、山脈の形成					1
	第2章地球の活動 第1節地震 ・地震の発生と分布 ・地震波の伝わり方 ・日本付近で発生する地震	・地震が発生するしくみ ・地震波と震源 ・地震の分類	・地震が発生する仕組みや地震の分類を理解し、知識を身につけている。 ・地震の規模とタイプを地図に書き込んでいく実習を通じ、対象の事象を理解しようとしている。 ・地震が発生する仕組みや地震の分類などに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	11
				○	○		1
2 学 期	第2章地球の活動 第2節火山活動	・火山の分布 ・火山の形成とマグマ ・火山の地形 ・火成岩の形成と種類	・火山の分布、火山の形成とマグマ、火山地形について理解し、知識を身につけている。 ・火山の分布、火山の形成とマグマ、火山地形について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	13
				○	○		1
	第3章大気と海洋 第1節 地球のエネルギー収支	・大気の特徴と特徴 ・対流圏における水の変化 ・太陽放射と地球放射	・大気の特徴と特徴、対流圏における水の変化、太陽放射と地球放射、大気と海水の運動について理解し、知識を身につけている。 ・大気の特徴と特徴、対流圏における水の変化、太陽放射と地球放射、大気と海水の運動について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	第2節 大気と海水の運動	・エネルギー収支の緯度分布 ・風 ・大気の大循環 ・海洋の構造と循環		○	○		1
3 学 期	第4章宇宙と地球 第1節宇宙と太陽の誕生	・宇宙の始まりと恒星の誕生 ・銀河の恒星	・ビッグバン、恒星、惑星、銀河の形成について理解し、知識を身につけている。 ・宇宙全般について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	17
	第2節太陽系と地球の誕生	・太陽系の構造と誕生 ・惑星の形成		○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術Ⅱ 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術Ⅱ 科 目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1・2組：山崎）（3組：山岸）（4・5組：山崎）（6・7組：山崎）

使用教科書：（MOUSA 2 教育芸術社）

教科 芸術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】芸術活動を通して、作品の文化的・歴史的背景及び多様性について理解し、その表現に必要な知識・技能を身に着けている。

【思考力、判断力、表現力等】芸術の課題を多角的に解釈することができる。社会における芸術の役割、価値を考えて創意工夫することや創造的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を生活や社会に活かそうとし、主体的・協働的に芸術活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・曲想と音楽の文化的・歴史的背景などとの関わり及びその多様性について音楽活動を通して理解を深められている。 ・創意工夫を生かした音楽表現するために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけている。	・音楽の諸活動を通し、課題を多角的に解釈することができる。 ・社会における音楽の役割、価値を考えて評価しながらよさや美しさを創造的に捉えることができる。	・音楽を生活や社会に活かそうとし、主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑 賞					
1 学 期	・表現（ギター） 【知識及び技能】 曲にふさわしい奏法や身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解し、課題解決のための方法を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を生活や社会に活かそうとし、主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	ギターの構造、姿勢、各部の名称 ダイアグラム／タブ譜 音名とコード G, Em, D, C, Am, G/B, Bm7 ストロークの工夫 コード進行		○		○	【知識・技能】 必要な表現技術を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に表現活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	8
	・表現（歌唱） 【知識及び技能】 音楽の構造や曲想について理解を深めることができる。歌唱表現をするために必要な技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現活動に取り組む。	声のウォーミングアップ方法 日本の歌曲 外国語の歌曲 曲想に応じた発声・表現について 楽曲の特徴や性格をとらえた表現について		○		○	【知識・技能】 必要な表現技術を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に表現活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	8
	・鑑賞 【知識】 音楽の構造や背景との関わり及び多様性について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の要素やその働きを感じながらよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む。	映画を彩る音楽 映画と音楽の関係 映画音楽の作曲家たち 映像作品にみられる音楽の特徴			○	○	【知識】 必要な知識を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	8
2 学 期	・表現（リズム） 【知識及び技能】 創意工夫をした音楽表現をするために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現活動に取り組む。	リズムの種類 音符、音価 パートの組み合わせ アンサンブルとは 音色の工夫 演奏の工夫 発表		○	○	○	【知識・技能】 必要な表現技術を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に表現活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	10
	・表現（創作） 【知識及び技能】 音楽の構造や曲想について理解を深めることができる。表現をするために必要な技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫のために主体的・協働的に表現活動に取り組む。	変奏・アレンジ 旋律の変化 拍子、リズムの変化 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴 音楽を形づくっている要素の働きの変化		○	○	○	【知識・技能】 必要な表現技術を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に表現活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	10
	・鑑賞 【知識】 世界の音楽の構造や歴史的背景との関わり及び多様性について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の要素やその働きを感じながらよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に鑑賞活動に取り組む。	世界の諸民族の音楽 身振りを伴う表現とは 旋律、音階、音律の違いなど			○		【知識】 必要な知識を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	8
3 学 期	・表現 ソロ・アンサンブル発表 【知識及び技能】 創意工夫をした音楽表現をするために必要な技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の課題に対して多角的に解決し、行動する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に表現活動に取り組む。	選曲～プログラム作り～ 演奏形態とは アレンジの方法 表現活動 プログラム構成 演奏発表		○	○	○	【知識・技能】 必要な表現技術を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に表現活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	9
	・鑑賞 【知識】 現代音楽及び現代の音楽の構造や歴史的背景との関わり及び多様性について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の要素やその働きを感じながらよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む。	コンテンポラリー・ミュージック 現代音楽と現代の音楽について 作曲家と作品 身近にあるコンテンポラリーミュージックを見つける			○	○	【知識】 必要な知識を学び、整理して定着させることができる。 【思考・判断・表現】 課題に対して解決策を提案し行動、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的・協働的に活動に取り組み、より音楽のよさを目指して行動している。	○	○	○	9 合計 70

[illegible]

高等学校 令和4年度（2学年用）教科 芸術 科目 書道Ⅱ

单位数： 2 单位

使用教科書：（書道Ⅱ 教育出版）

【学びに向かう力、人間性等】芸術を生活や社会に活かそうとし、主体的・協働的に芸術活動に取り組むことができる。

科目 書道Ⅱ の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			漢 仮	漢	仮							
1 学 期	漢字の書の歴史についての考察	・発生から現代に至る周辺知識の理解 ・年表作成 ・教科書・プリント	○	○	○	○	・書の美についての理解 ・文字の歴史を書の変遷について ・周辺の文化との係り	○	○	○	6	
	篆書の学習 成立と変遷	・篆書への理解と実技 ・教科書・プリント		○		○	・篆書の範囲と変遷・鑑賞 ・特徴を生かした表現と技術	○	○	○	6	
	篆書（姓名印又は名印）の制作 篆書作品と押印	・篆刻の準備・心構え ・姓名印の作成 ・篆書で創作		○		○	・手順通りに刻り進めることができたか。 ・意に添った作品に仕上げることができたか。 ・篆書の作品創作し、押印に完成させる。	○	○	○	12	
2 学 期	隸書の学習 成立等と臨書	・隸書の理解 ・各々特徴を生かした臨書 ・木簡は木片の表現も体験		○		○	・隸書を理解し、特徴を捉えた表現ができる ・木簡は半紙と木片での表現を試み、合同作品制作	○	○	○	12	
	草書・行書・楷書 成立等と臨書 各幅2行で作品 漢字仮名交じり文	・各書体の成立と周辺知識 ・各々特徴を理解し、臨書の表現を試みる。 ・様々な技法を駆使して作品制作	○	○		○	・書の変遷を理解し、特徴を捉えた表現ができる ・条幅2行の作品制作 ・現代文の創作	○	○	○	16	
3 学 期	仮名の学習 古筆、臨書	・仮名の特徴 ・高野切第一種の臨書 ・三色紙 ・短冊等、作品制作				○	○	・古筆の特徴をとらえ臨書 ・散らし書きについて理解 ・様式を変えて、表現を試みる。	○	○	○	9
	漢字仮名交じり文	・創造的な表現を探る	○			○	・感動や思いを自分の表現として試みる。 ・意に添った作品制作	○	○	○	9 合 計 70	

板橋 高等学校 令和5年度（2学年用）

外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組：栗原 ）（2組：栗原 ）（3組：土田 ）（4組：新村 ） （5組：栗原 ）（6組：土田 ）（7組：新村 ）

使用教科書：（ Power On English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】言語の知識を深め、それをコミュニケーションにおいて適切に活用できる機能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】場面に応じて様々な話題について、外国語で相手の意図を理解したり、表現したり伝え合ったりできる力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】背景文化への理解を深め、相手に配慮しながら外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言葉の働きなどについて理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを理解したり表現したり伝え合ったりする力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	A Lesson 1 【知識及び技能】 助動詞＋動詞の原形。受け身，S＋V [be 動詞以外] ＋Cを用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○		○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	8
	B Lesson 2 【知識及び技能】 S＋V＋O＋C [形容詞]，S＋V [使役] ＋O＋C [原形不定詞]，S＋V [知覚] ＋O＋C [現在分詞，原形不定詞] 【思考力、判断力、表現力等】 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなファッションブランドのエシカルな活動について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○		○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	8
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	C Lesson 3 【知識及び技能】 現在完了形，過去完了形，仮定法過去のif 節を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○		○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	13

	D Lesson 4 【知識及び技能】 関係代名詞（主格），関係代名詞の非制限用法，関係代名詞（目的格）を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 日本と海外の自動販売機について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，海外のユニークな自動販売機について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と海外の自動販売機について，必要な情報，話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，海外のユニークな自動販売機について，情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 定期考査	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	13	
	発表 プレゼンテーション	・ワークシート ・一人1台端末の活用 等	○		○	○			○	○	○	4
	Lesson 5 【知識及び技能】 助動詞＋受け身，S＋V＋C〔分詞〕，S＋V＋O〔if節〕，It seems [appears] ＋that節を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ブレイルノイエの利点と活用方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，ブレイルノイエの利点と活用方法について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	11	
	Lesson 6 【知識及び技能】] It＋is [was] ＋said＋that 節，形式目的語itとthat 節，形式目的語itとto 不定詞，助動詞＋have＋過去分詞を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 新紙幣とキャッシュレス社会について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，キャッシュレス社会の長所・短所について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 定期考査	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	11	
2 学 期	Lesson 7 【知識及び技能】 関係代名詞（所有格），同格を表す接続詞that，前置詞＋関係代名詞，関係副詞whereの非制限用法を用いた文 【思考力、判断力、表現力等】 色の心理的效果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉えたり，聞いたり読んだりしたことを活用しながら，色の心理的效果を考慮した部屋の壁の色について，情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 色の心理的效果について，必要な情報，話・文章の展開や話し手・書き手の意図，概要や要点，詳細を捉え	・教科書、ワークブック ・ワークシート ・リスニング教材 ・速読トレーニング ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	・ワークシートー聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと（やり取り） ・ワークブックー読むこと、書くこと ・リスニングー聞くこと ・速読トレーニングー読むこと	○	○	○	14	

[illegible]

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【や】	話 【発】	書					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、適切に話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 1 経験についての会話 現在完了形・過去完了形				○		【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることが出来る	○	○	○	4
	Lesson 1 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 2 好きな場所を紹介する発表原稿 さまざまな未来表現					○ ○	【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて、原稿を書くことが出来る。 書いた原稿を基に、発表が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 原稿の準備をしたうえで、ペアワークやグループワークに主体的に取り組むことが出来る	○	○	○	4
	定期考査								○	○		1
	Lesson 2 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 1 週末の予定についての会話 助動詞の表現				○		【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることが出来る	○	○	○	5
	Lesson 2 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 2 最新のものを紹介する発表 助動詞+完了・be+to不定詞					○ ○	【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて、原稿を書くことが出来る。 書いた原稿を基に、発表が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 原稿の準備をしたうえで、ペアワークやグループワークに主体的に取り組むことが出来る	○	○	○	5
	Lesson 3 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 1 印象深かった授業についての会話 受動態				○		【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることが出来る	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
2 学 期	Lesson 3 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 2 贈り物について説明する文章 不定詞①				○	○	【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて、原稿を書くことが出来る。 書いた原稿を基に、発表が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 原稿の準備をしたうえで、ペアワークやグループワークに主体的に取り組むことが出来る	○	○	○	5
	Lesson 4 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 1 日本の文化についての会話 不定詞②				○		【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことが出来る 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組み、会話を続けることが出来る	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1

3 学 期	Lesson 4 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 2 日本の文化を紹介する発表 知覚動詞・使役動詞					○	○	【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて、原稿を書くことができる。 書いた原稿を基に、発表が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 原稿の準備をしたらうで、ペアワークやグループワークに主体的に取り組むことができる	○		○	○	6
	Lesson 5 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 1 科学技術についての会話 動名詞					○		【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む、会話を続けることができる	○		○	○	6
	定期考査									○	○			1
	Lesson 5 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 2 社会状況と職業についてのレポート 分詞構文・with+0+分詞					○	○	【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて、原稿を書くことができる。 書いた原稿を基に、発表が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 原稿の準備をしたらうで、ペアワークやグループワークに主体的に取り組むことができる	○		○	○	6
	Lesson 6 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 1 大きさなどを身近なものに例える 比較①					○		【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて会話のやり取りが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む、会話を続けることができる	○		○	○	6
	Lesson 6 【知識及び技能】 目標文法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 目標文法を用いて、話したり書いたりする 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループワークに主体的に取り組む	Part 2 世界や日本で有名な場所を紹介する発表 比較②					○	○	【知識・技能】 目標文法を用いた問題演習に取り組むことができる 【思考・判断・表現】 目標文法を用いて、原稿を書くことができる。 書いた原稿を基に、発表が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 原稿の準備をしたらうで、ペアワークやグループワークに主体的に取り組むことができる	○		○	○	6

70

板橋 高等学校 令和5年度（2学年用） 総合的な探究の時間

教科 科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： （大井、栗原、鈴木、内田、新村、小泉、廣江）

使用教科書： （ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標： 自分の生き方について責任を持って決定できる力を育み、これからの社会をより良く生きていくために必要な力を育成する

【知 識 及 び 技 能】各教科で身につけた知識・技能を総合的に考えられるよう、基礎的・基本的な知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生徒の目指す知識・技能を育むため、主体的・対話的な能力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】探究に主体的・協働的に取り組むとともに、より良い社会を実現しようとする態度を身につける。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問を見だし、自分で課題を立て、情報を整理分析してまとめ・表現することが出来るようにする。	探究に主体的協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、より良い社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	小論文指導	小論文の基本的な書き方指導	小論文プリントに記入する 生徒同士での対話	○	○	○	2
	具体的な進路選択に関わる情報の 学習	分野別進路講話 上級学校分野別説明会	ワークシートへの記入	○	○	○	4
	調べ学習や事前学習行事等（沖 縄）	沖縄に関する調べ学習のテーマ決 定、グループ内での役割分担、計 画立案 等	ワークシートへの記入	○		○	4
	学校見学会	オープンキャンパスについての講 話 オープンキャンパスに関する調べ 学習	ワークシートへの記入				2
2 学 期	具体的な進路選択に関わる情報の 学習	進路選択を考えさせ、各自の科目 選択を決定させる。	選択科目調査カードの提出				
	キャリア学習	自立支援プログラム	ワークシートへの記入		○	○	7
	調べ学習や事前学習行事等（沖 縄）	沖縄に関する調べ学習を各クラ ス、各グループに分かれて行う。	グループ学習 研究内容の発表	○	○	○	7
3 学 期	小論文指導	小論文指導	小論文の提出	○	○	○	7
	具体的な進路選択に関わる情報の 学習	卒業生進路報告会	ワークシートの提出		○	○	2
							合計 35